

# 火を使う 実験は安全に!

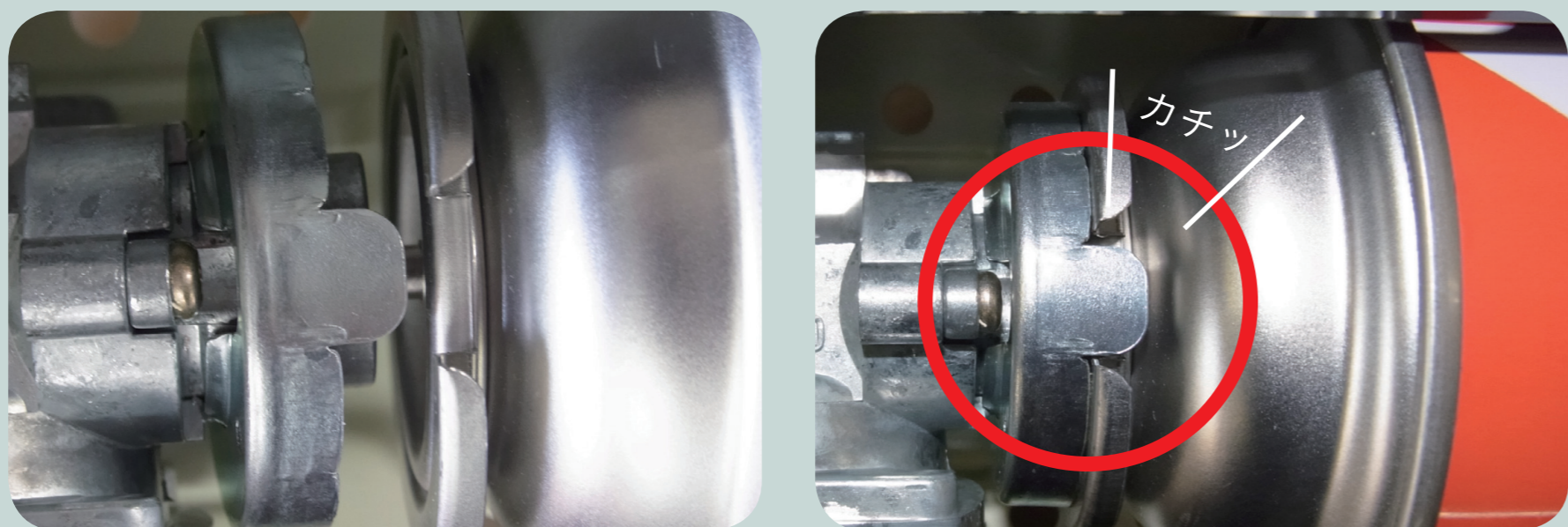
安全で安心な理科の観察・実験をするために気をつけること

## ② 理科実験用ガスコンロの正しい使い方



### ✓ 使用前に確認すること

- ガスポンベの切り込み(凹凸)を合わせて正しく取りつける

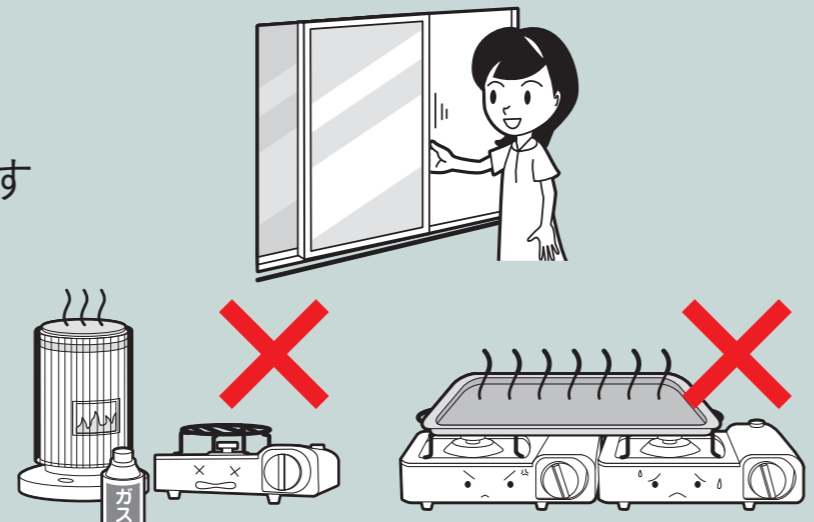


- 平らな場所に置く
- 燃えやすいものを近くに置かない
- ガスポンベをたいたり落としたりしない
- ごとくより大きい金あみを使わない



### □ 正しい実験の方法

- 燃焼実験中は窓を開けて換気をおこなう
- 変なおいがしたらすぐにガスポンベをはずす
- 暖房器のそばや高温になる場所に置かない
- 使用しないときはガスポンベははずす  
※ガスポンベの取り外しは、先生の指導にしたがってください。
- 2台以上のコンロを並べて使用しない



#### ⚠ 注意点 ご指導の先生へ

コンロ使用後は、ポンベを取り外し、キャップをはめ、風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。  
ご使用されている理科実験用ガスコンロの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。コンロも経年劣化します。古いコンロ(10年が目安)を使用している場合、ガス漏れなどの事故が発生する危険性がありますので、本体に表示されている製造年月を確認してください。

## ① アルコールランプの正しい使い方



### ✓ 使用前に確認すること

- 容器やふたが欠けていたり、ヒビが入っていないか
- 芯の長さは5mmくらいにする
- アルコールの量は容器の8分目くらい
- 芯がきちんとアルコールに入っているか

※実験の前に必ず、「燃えさしいれ」と「ぬれぞうきん」を用意する。  
※アルコールのつぎたしは必ず火を消して行う。

Q もしもアルコールランプを倒してしまったら…!?

A **ぬれぞうきんをかぶせて火を消す**



### □ 正しい実験の方法



① マッチに火をつけ、芯の横の方から火をつける

② 実験が終わったら、ふたをななめ上からかぶせて、火を消す

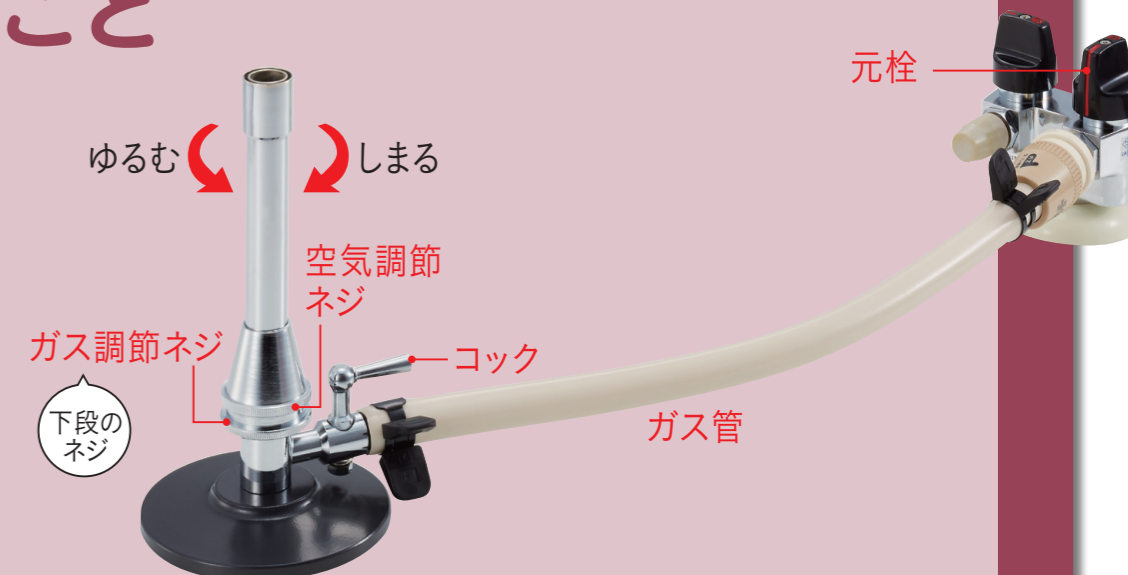
③ ふたを一度とり、消火を確認したら、ふたたびふたをする

⚠ 注意点 アルコールランプで火をつけない。

## ③ ガスバーナーの正しい使い方

### ✓ 使用前に確認すること

- 燃焼筒にごみがつまっていないか
- 空気調節ネジとガス調節ネジはスムーズに回せるか(一度ゆるめて、軽く戻しておく)
- ぬれぞうきんと燃えながら入れを用意する
- 机の上を整理せいとんし、余計なものを置かない



### □ 正しい実験の方法

#### 点火する時

- ① 空気調節ネジとガス調節ネジがしまっていることを確認
- ② 元栓をあける
- ③ コックをあける
- ④ ガス調節ネジをまわしながらマッチの火をななめ下から近づける

#### 実験中

- ① 安全メガネを付ける
- ② 火の上にかぶさらない
- ③ 衣服への引火に注意する
- ④ 髪の毛は束ねたり、まとめる
- ⑤ ゴムホースを引っかけないように注意する

#### 炎の調節

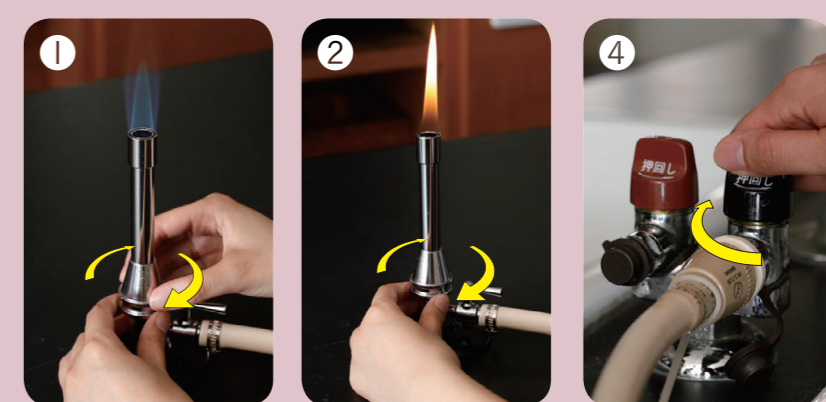
ガス調節ネジを押さえて、空気調節ネジを開けて、炎を調節する



#### 火を消す時

点火する時とは逆の手順を行う

- ① 空気調節ネジをしめる
- ② ガス調節ネジをしめる
- ③ コックをしめる
- ④ 元栓をしめる



※火が消えても、コックと元栓を必ずしめる。  
※空気調節ネジ・ガス調節ネジはぎっくしめすぎないこと。